

令和2年度 事業計画

1 基本方針

観光を取り巻く情勢は常に激しく変化を続けています。令和2年には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、大会開催後も含め、多くの外国人が日本を訪れると考えられます。さらに令和3年には第9回太平洋・島サミット、三重とこわか国体・とこわか大会の開催が予定されており、多くの方々が伊勢志摩を訪れるとともに、地域活性化の契機となることが期待されています。

平成31年3月に策定した新しい「伊勢志摩観光振興プラン」に沿い、伊勢志摩地域が埋もれることなく、“伊勢志摩ファン”を増やしていくため、自然、歴史、文化、食等の分野における高いポテンシャルを生かし、国内外からの誘客、周遊・滞在を促進し、観光事業の健全な発展や振興、地域の活性化を図っていきます。また、広域のスケールメリットを生かし一体となって、伊勢志摩経済圏の活性化、持続可能な観光地域づくりを目指した取組を進めていきます。

国内誘客においては、引き続き消費者の傾向を的確に掴み、ターゲットに効果的に訴求する発信やプロモーションの展開に加え、重要なマーケットである首都圏を中心とした大都市圏、長期間の滞在につながる遠隔地からの誘客を促進する取組も実施していきます。

海外誘客においては、インバウンド事業本格実施の2年度目として、強化した組織体制のもと取組みを深化させ、当機構の重要なパートナーである地域の様々な事業者や団体との連携を強化し、伊勢志摩地域が一体となった取組を進めていきます。外国人観光客に関するデータや傾向を分析したうえで、ターゲットに対し戦略的な誘客を図るとともに、受け入れ環境の整備にも取り組み、地域としてレベルアップしていくように努めます。

以上の取組の充実を可能とするべく、おもてなしの向上、安全・安心の実現、バリアフリー対応の推進等を実現しながら、事業の質、専門性及び継続性の向上をめざして専務理事を配置した組織体制のもと、充実した事業とそれを支える体制の維持向上を図り、日本版DMO法人登録（地域連携DMO）を進めていきます。

また、地域内における二次交通などの課題も顕在化しており、解決に向けた取り組みと連携していきます。

2 伊勢志摩地域の経済が活性化することを目的として行う観光振興事業

(1) 観光情報の発信事業

10,240千円

行政区域の枠を超えた広域のスケールメリットを活かした効果的な情報発信を図り、継続的な誘客促進に寄与するため、以下の事業に取り組みます。

① インターネットによる情報発信

当機構ホームページ「伊勢志摩観光ナビ」（以下：機構HP）やSNSなど、インターネットを活用した効果的な情報発信を行います。

機構HPは、年間アクセス数が約550万ページビューあり、三重県外からの閲覧が約9割の伊勢志摩地域最大級の観光情報サイトで、伊勢志摩訪問を検討する多くの方々に閲覧されています。

現在の機構HPはスマートフォンによる閲覧者が増加しているため、スマホサイトの改良を行うとともに、特集・モデルコース・観光スポットなどのコンテンツを充実することで閲覧者が知りたい情報を提供できるよう努めます。

機構HPを活用した財源確保の取組については、旅の予約ページから予約・宿泊さ

れた件数や金額に応じて報酬を得る以外に有料の特集記事掲載やバナー広告により財源を確保していきます。また、伊勢志摩のコンテンツ動画を機構 HP 上に掲載し、手続きを経て有料での利用を可能とするシステムを構築します。

		平成 30 年度 (実績)	平成 31 年度 令和元年度 (見込)	令和 2 年度 (目標)
機構 HP アクセス数 ※	年間	約 576 万 ページビュー	約 545 万 ページビュー	約 580 万 ページビュー
		約 207 万 セッション	約 219 万 セッション	約 230 万 セッション
	年未年始 (12/28～ 1/3)	98,331 ページビュー	152,921 ページビュー	約 120,000 ページビュー
フォトギャラリー 画像請求件数		2,259 件 (月約 190 件)	約 2,200 件 (月約 180 件)	約 2,300 件 (月約 190 件)
フェイスブックページ 「いいね」数		約 11,100	約 12,300	約 12,700
ツイッター フォロワー数		約 3,990	約 4,090	約 4,200
インスタグラム フォロワー数		約 1,500	約 2,100	約 2,500
宿泊予約 サイト	宿泊実績	537 件	約 330 件	約 350 件
	手数料収入	129,342 円	約 120,000 円	約 150,000 円

※セッション

サイト訪問者数。一度の訪問における 30 分以内の行動が 1 セッション。サイトを離脱しても 30 分以内に再来訪した場合は同一セッション、同一ユーザーでも 30 分以降の再来訪は別セッション。

※ページビュー

閲覧されたページ数。WEB ページが 1 ページ表示されると 1 ページビュー。

② メディアによる情報発信

三重テレビ放送「ええじゃないか。」において、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町の観光情報やイベント、グルメなど、伊勢志摩地域の特徴を生かした番組を制作・放送します。

テーマ性のある企画でより深く、より地元に着目した旬な情報を視聴者に提供することで、リピーターの獲得及び伊勢志摩全体の知名度の向上を図ります。

なお、当番組は三重テレビ放送他 8 局で放送され、全国世帯の約 56% をカバー、特に当地域への来訪者が多い中部圏と関西圏については約 90% の世帯をカバーしています。さらに、番組情報を新聞や情報誌等で PR していることから、効果的な情報発信及び誘客促進が期待できます。

また、複数の地域を周遊する 2 週連続の特別回を設け、より実際の旅行に近づけた番組制作を行います。一度に伊勢志摩地域を周遊した番組制作により、それぞれを近くに感じさせ、より広域周遊につなげていくことを目指します。

③ パンフレット等による情報発信

「伊勢志摩観光ガイドブック『美し国伊勢志摩』（日本語版、英語版、中国語版、韓国語版）」を中心とした、紙媒体での情報発信を実施します。

伊勢志摩観光ガイドブック『美し国伊勢志摩』は、伊勢志摩管内の観光案内所や宿泊施設のほか、三重テラスやセントレアなど県外施設でも配布されており、伊勢志摩地域を網羅したガイドブックとして広く活用されています。

令和2年度は、令和元年度に作成した日本語版の印刷用データをもとに、印刷製本を行います。

(2) 観光客及びコンベンションの誘致促進及び受入体制の整備に関する事業

39,060 千円

伊勢志摩地域への国内外からの観光入込客増大を図るため、地域が一体となって観光客やMICE等の誘致を行うため、以下の事業に取り組みます。

① インバウンド推進事業

外国人観光客の誘客にあたっては、地域が一体となって取り組むことが効率的であると考え、広域かつ、様々な業種の会員で構成されている当機構が中心となり、地域や業種を包括した取組を進めていきます。

強化した組織体制のもとでの本格実施2年目となる令和2年度は、引き続き「伊勢志摩観光振興プラン」の魅力の4本柱である「神宮、食、伊勢志摩国立公園、海女文化」を生かし、欧米豪（主に英・仏・豪）をメインターゲットとして、伊勢志摩地域が一体となったプロモーションを実施します。確実に誘客を狙うため、アジア圏もターゲットとした取組も実施します。

新たな取組として、商談会（インバウンド取扱業旅行会社の招聘を想定）の開催や、ツアー造成に向け旅行会社を招聘し伊勢志摩の魅力を確認してもらうこと等により、旅行会社との関係性の構築・強化に加え、地域の事業者とのマッチング機会を創出し、地域とのつながりの強化や地域での消費拡大をもたらします。

誘客と合わせて、外国人観光客が快適に旅行できるよう、機構HP等における観光情報の多言語化と充実、アクセスや地域内の交通手段等の一体的な提供等を進めるとともに、地域の事業者の外国人受入技術の向上を図ることで人材育成にも取り組みます。

伊勢志摩国立公園のナショナルパーク化に向けては、自然と人の営みが調和した魅力ある地域に磨き上げ外国人を魅了することで誘客につなげます。

これらの取組を進めるとともに、外国人観光客に関するデータや傾向の把握を強化し、取組効果の検証、施策の立案に生かし、戦略的な誘客を図ります。

② 伊勢志摩情報発信プロモーション事業

伊勢志摩は「神宮」、「自然」、「食」等既存のイメージによって支えられています。伊勢志摩の観光が今後持続的に発展していくためには、そのイメージを受け継ぎつつも、消費者の傾向を的確に掴み、常に新しい伊勢志摩を情報発信していく必要があります。官民が連携し、地域が一体となり情報整備とターゲットを絞った正確なプロモーション展開を実施します。

国内最大のマーケットである首都圏を中心に大都市圏をターゲットとした取り組みについては、メディア（雑誌・テレビ・SNS）とタイアップし「新しい伊勢志摩」の魅力創出と「新しい伊勢志摩への旅」へいざなう情報発信を実施します。また、首都圏に関しては、「伊勢志摩アンバサダー」のネットワークを最大限活用し、発信力

のある方や同世代旅行消費者へ伊勢志摩への旅行促進に繋がる情報発信に努めます。

長期間の滞在につながる遠隔地からの誘客については、札幌・福岡エリアからの来訪者数の増加をさらに加速させるため、道民割の実施や第2ターミナルがオープンしLCCの就航がますます多くなる中部国際空港を拠点とし、関連する交通事業者と連携し、伊勢志摩へのアクセスや正確な伊勢志摩の情報等を発信し、誘客促進に取り組みます。

③ VISIT 伊勢志摩事業

長期的視点に立ち、伊勢志摩が今後観光地として持続的に発展していくための一つの魅力の柱として温泉を育て、最終的には宿泊者数増加につなげるため、伊勢志摩の温泉の認知度向上に取り組めます。

令和2年度については、令和元年度に構築したコンセプトに基づき、伊勢志摩の代表的なコンテンツである「神宮」、「自然」、「食」などと組み合わせながら、伊勢志摩の温泉のイメージ付けを図る情報発信と併せ、宿泊してこそ味わえる朝や夜という時間軸における魅力の発信により、宿泊者数が低調な時期の誘客につながるようターゲット層に対応したプロモーション等を行政、鉄道会社等と連携して実施します。

④ クルーズ船誘致及びおもてなし事業

クルーズ船寄港への対応として、鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会と協力し、クルーズ客の地域内周遊につなげ、消費拡大やリピーター獲得をもたらす、地域経済活性化につなげる機会とします。

また、受入実績を積み上げ、寄港地として選ばれるための魅力と認知度の向上を図り、VJTMなど商談会やクルーズ船社へのセールス活動に注力し、鳥羽港への新規のクルーズ船誘致、既存のクルーズ船の継続的な寄港、ツアーの造成に向けセールスを展開します。

⑤ MICE 誘致事業

MICE開催の誘致、強化のため、「伊勢志摩リゾートMICE推進協議会」のもと地域が一体となった誘致活動を推進し、さらなる情報収集、情報発信に努めます。

また、三重県が支援する国際会議にも重複して交付する助成金制度、各種提供物や会議の割引等の企画商品、MICEクーポンなど、開催支援サービスの強化により、伊勢志摩での開催を誘致していきます。

さらに、地域内各市町の支援制度の把握、分析等を行い、支援のあり方について検証します。

⑥ 誘客促進事業

伊勢志摩地域の魅力を広く発信・PRしつつ、各地域からの需要喚起や誘客促進を図るため、各種誘致活動を実施します。

外部の観光産業関係者などが開催する研修会への参加及び意見交換、プロモーションを実施し、各方面へ「伊勢志摩」の露出を図ります。

また、観光産業の市場動向に応じた事業展開を実施するため、観光業者及び旅行会社などとネットワークを形成し連絡調整を図ります。

(3) 伊勢志摩フィルムコミッション事業

1,606千円

映画、TV、CM等の各種映像を通し、伊勢志摩地域の魅力を発信することにより、当地域の魅力の再発見や知名度、イメージの向上を図るため、積極的な撮影の誘致を行います。

また、制作会社からのロケ候補地等の問い合わせ対応、候補地の下見への同行などの支援、エキストラスタッフの派遣協力、県内の他フィルムコミッションとの連携強化、近年問い合わせの増加しているコンテンツの動画素材作製などにより、支援体制の強化を図ります。

さらに、伊勢志摩地域でのフィルムコミッション事業を円滑に進めるため、伊勢志摩フィルムコミッション事業推進委員会を軸としたオール伊勢志摩体制で支援の強化と機能性の充実を図ります。これにより、撮影可能な場所やシチュエーションを拡大し、伊勢志摩の露出増加を図ります。

(4) 観光情報の調査研究及び観光客の満足度向上に関する事業 152 千円

伊勢志摩地域の観光を戦略的、効果的に推進するための舵取り役を果たすことと、観光客の満足度向上を目的に、新しい伊勢志摩観光振興プランに基づいた、観光客の実態・傾向の調査やデータの収集を実施し、プラン達成状況の検証や施策の立案に活用します。

また、日本版 DMO 法人登録を進めるうえで必要な KPI の設定、PDCA サイクルによる事業の改善・効率化などにも取り組みます。

なお、調査結果やプランの達成状況は、今後会員と情報共有し、施策立案に活かします。

(5) 観光産業及び観光文化の振興と人材の育成に関する事業 150 千円

伊勢志摩地域が一体となった集客交流が円滑に進む体制を整備し、地域の観光産業の振興を図ります。また、地域の観光事業者やおもてなしに関心を持つ方等を対象に、食や伝統、歴史、文化等についての基礎知識やおもてなし対応を習得できる機会を造成するため、おもてなしセミナーを開催します。

(6) 伊勢志摩学生団体誘致委員会事業（特別会計） 4,455 千円

平日の安定的な宿泊施設の稼働と集客を維持できる教育旅行を、国内中心に海外からの誘致も視野に入れ、宿泊施設・観光施設・観光団体等で組織する「伊勢志摩学生団体誘致委員会」の活動を継続して展開していきます。

「～自然・歴史・文化から学ぶ～ 美し国・環境学習」を学習テーマの主軸として、伊勢志摩固有の歴史・文化・伝統・産業や国立公園内の自然を生かし、各種観光施設を組合せた教育旅行の提案と情報発信、各種プロモーションを実施し、修学旅行の枠組だけでなく、児童・生徒・学生の将来の職業選択肢を広げられるような体験学習、スポーツ合宿や大学のゼミ旅行等、幅広く教育に係る旅行の誘致にもつなげていきます。

企画立案事業では、平成 29 年度に改訂された学習指導要領の「知・徳・体にわたる『生きる力』」を育み、自然の中での集団宿泊体験や現場体験を重視し、能動的な学修や社会情勢を踏まえた、伊勢志摩ならではの教育旅行の提案やプログラムづくり等に取り組み、伊勢志摩でしかできない体験を通じた学習要素を強め、他地域教育旅行との差別化を図ります。

誘致宣伝事業では、全国の学校や、旅行会社等を対象として情報発信及び訪問セールス等の誘致活動を実施します。

また、令和 2 年度も伊勢志摩現地招聘事業を実施し、教育関係団体や旅行会社営業担当者に伊勢志摩の魅力を実感してもらい、関係性を強めることで伊勢志摩が旅行先として少しでも多く選定されるよう認知度強化に努めます。

これらに加え、この地域への教育旅行の受入状況を宿泊・観光施設から聴き取り調

査等により実状を把握し、効果的に誘致活動できる仕組みの構築に取り組みます。併せて、全国修学旅行研究協会、日本修学旅行協会及び、あおぞら号近畿地区運営協議会等、関係団体との情報交換・収集を行い、マーケティングに反映していきます。

さらには、訪日教育旅行の誘致活動も視野に入れ、三重県及び各市町の教育委員会との情報交換・収集に努め、誘致できる仕組みを構築できるよう取り組んでいきます。

(7) 伊勢志摩キャンペーン事業（特別会計事業）

「VISIT 伊勢志摩事業」により、宿泊者数の増加につなげるための効果的な取組を行うことから、当該事業は休止中です。

3 管理部門

(1) 組織体制の強化

① 事務局体制

伊勢志摩地域の広域観光を十分に担うため、行政、関係団体、事業者等と連携し、伊勢志摩地域の観光振興を推進する体制を構築し、組織強化を進めていきます。

また、平成 30 年度に専務理事、インバウンドを主に担当する正規職員を配置したことにより強化した体制のもと、日本版 DMO 法人登録に向けて取り組みます。

■事務局職員（14 名）の内訳

専務理事 1 名

正規職員 1 名

臨時職員 2 名

伊勢市からの派遣職員 2 名

鳥羽市からの派遣職員 2 名

志摩市からの派遣職員 2 名

南伊勢町からの派遣職員 1 名

三重県職員（観光魅力創造課 伊勢市駐在） 1 名

三重交通(株)からの派遣職員 1 名

(株)近畿日本ツーリスト中部からの派遣職員 1 名

② 会員の拡大

行政区域の枠を越えた伊勢志摩広域で、官民が一体となった観光振興事業の展開及び推進を図るため、会員相互及び事務局で新規会員の積極的な確保に努めます。さらに会員になることのインセンティブの充実を図ります。

③ 会員への情報提供

様々な関係者と連携した取組を進めるため、地域とのつながりの強化やコミュニケーションを図っていきます。会員向けに情報を提供する機会や会員間の情報交換の機会を創出します。

令和2年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

1 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	借入先	金額		用途	

2 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達の方法	

令和2年度 別途会費又は負担金の額

当機構会費規程第5条第1項に規定する、令和2年度における別途会費又は負担金の額は次のとおりとする。

1 伊勢志摩学生団体誘致委員会事業 特別会計負担金

(1) 学誘特別委員 15委員

委員名	負担金額	委員名	負担金額
三重県	240千円	南伊勢町観光協会	30千円
伊勢市	600千円	伊勢商工会議所	30千円
鳥羽市	600千円	鳥羽商工会議所	30千円
志摩市	600千円	志摩市商工会	30千円
南伊勢町	300千円	南伊勢町商工会	30千円
公益社団法人 伊勢市観光協会	30千円	鳥羽旅館事業協同組合	30千円
一般社団法人 鳥羽市観光協会	30千円	答志島旅館組合	30千円
一般社団法人 志摩市観光協会	30千円		

(2) 学誘委員 一律30千円×25委員